

《お客さま本位の業務運営に関する取組方針》に係る取組状況

2023年6月26日

水戸信用金庫

当金庫は、金融商品の販売やサービスの提供にあたり、お客さまのニーズに適切にお応えしていくための「水戸信用金庫 お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を、2018年9月に策定・公表しました。

この方針についての取組状況と、当金庫が自主的に設定した2023年3月末の成果指標【自主的KPI】及び比較可能な共通の成果指標【共通KPI】を公表いたします。今後もより良い業務運営を実現するため、定期的に見直しを行ってまいります。

《お客さま本位の業務運営に関する取組方針》

1. 私たちは、金融機関としての職業倫理をもって、お客さまの最善の利益を第一に、誠実・公正に業務を行ってまいります。
2. 私たちは、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、お客さまとの利益相反管理を適切に行ってまいります。
3. 私たちは、金融商品の販売やサービスの提供にあたり、お客さまにご負担いただく手数料その他の費用の詳細について、適切な資料に基づき、わかりやすい丁寧な説明を行います。
4. 私たちは、金融商品の販売や推奨等を行ううえでの重要な情報について、お客さまにご理解いただけますよう、わかりやすい丁寧な説明を行います。
5. 私たちは、お客さまとの対話を通して、お客さまお一人おひとりにふさわしい金融商品の販売や推奨等を行います。
6. 当金庫は、お客さまの最善の利益を図るための職員に対する適切な教育を行ってまいります。

自主的に設定した成果指標【自主的KPI】

- 1- (1) 投資信託残高と投資信託顧客数の推移
- 1- (2) 資産複合型ファンドの残高推移
- 1- (3) 投資信託の平均保有期間の推移
- 1- (4) NISA（少額投資非課税制度）残高の推移
- 5- (1) 投資信託のラインナップ
- 6- (1) FP資格保有数

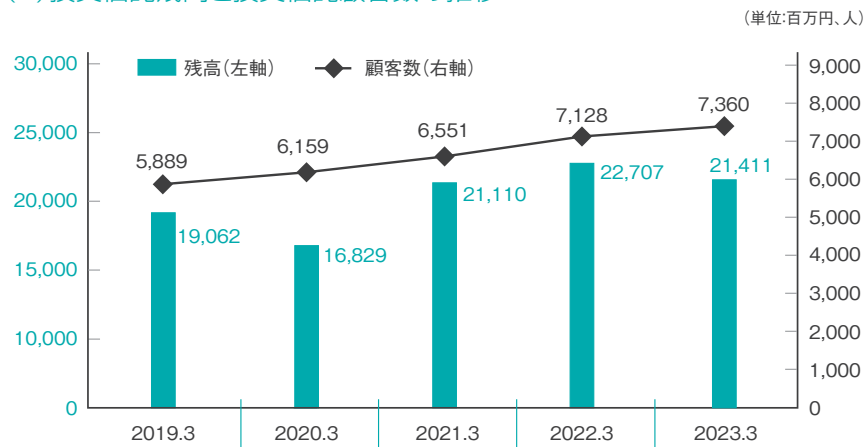
比較可能な共通の成果指標【共通KPI】

- 投資信託の運用損益別顧客比率
- 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
- 投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

1. 私たちは、金融機関としての職業倫理をもって、お客さまの最善の利益を第一に、誠実・公正に業務を行ってまいります。

2022年度はロシアによるウクライナ侵攻、米国をはじめとした世界的なインフレ、また急激な円安と不安定な金融市場でした。当庫においては顧客数が順調に増加したものの、残高はやや減少となりました。

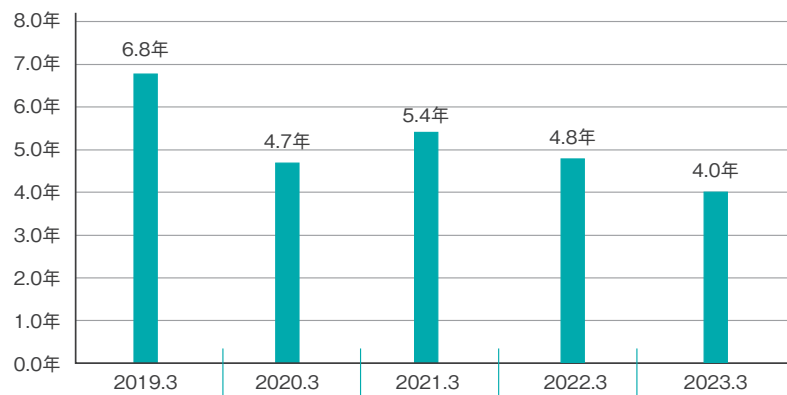
(1) 投資信託残高と投資信託顧客数の推移



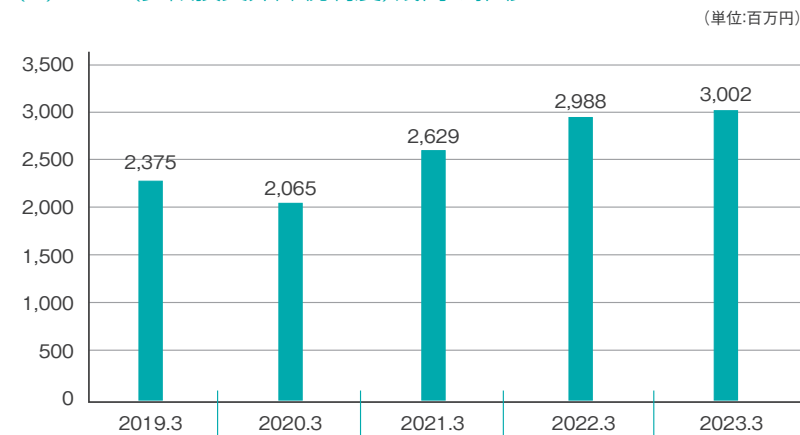
(2) 資産複合型ファンドの残高推移



(3) 投資信託の平均保有期間の推移



(4) NISA(少額投資非課税制度)残高の推移



取組状況・自主的に設定した成果指標【自主的KPI】

2. 私たちは、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、お客さまとの利益相反管理を適切に行ってまいります。

当金庫にのみ特別な利益となるような、一部の特定な資産運用会社に偏った商品の販売等は行っておりません。

預り残高上位20銘柄の運用会社名とファンド数

(2023年3月末)

運用会社	ファンド数	割合
しんきんアセットマネジメント投信(株)	10	50%
アセットマネジメントOne(株)	6	30%
三井住友DSアセットマネジメント(株)	2	10%
ニッセイアセットマネジメント(株)	1	5%
東京海上アセットマネジメント(株)	1	5%

3. 私たちは、金融商品の販売やサービスの提供にあたり、お客さまにご負担いただく手数料その他の費用の詳細について、適切な資料に基づき、わかりやすい丁寧な説明を行います。

投資信託の購入時や解約時にお客さまにご負担いただく手数料や間接的にご負担いただく費用の内訳については3および4ページの資料「ファンドガイドブック」「ファンドラインナップ」のパンフレットを用いてご説明しています。

4. 私たちは、金融商品の販売や推奨等を行ううえでの重要な情報について、お客さまにご理解いただけますよう、わかりやすい丁寧な説明を行います。

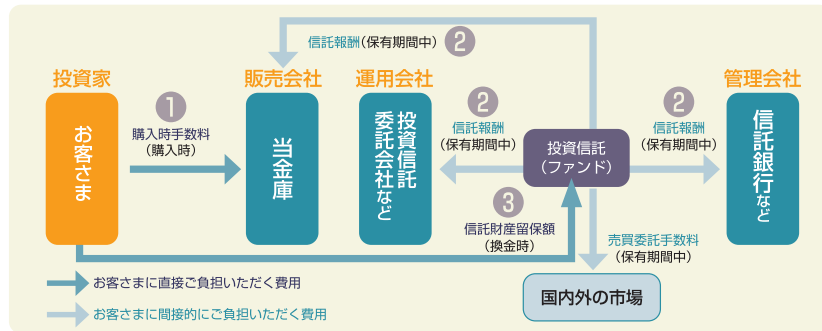
商品の重要な情報(リスク・リターン等)についても、「ファンドガイドブック」「ファンドラインナップ」を用いて、お客さまにわかりやすく丁寧に説明しています。また、商品の運用状況や経済環境および市場動向等については、「グローバル・マーケットのポイント」を毎月発行して情報提供に努めています。

「ファンドガイドブック」

投資信託に関する主な手数料等の概要

投資信託には購入時の購入時手数料のほかに、換金時の信託財産留保額、信託財産から間接的にご負担いただく信託報酬や利益に対する税金など、さまざまな費用がかかります。

投資インターネットサービスからお申込みいただく、購入時手数料のあるファンドの場合は、同手数料が窓口販売分より20%割引となります。(ただし、定時定額(投資自動積立)による買付を除きます。)



1 購入時 購入時手数料

販売会社が募集取扱業務の報酬として募集・買付時に徴収する手数料です。商品の保有期間が長期に及ぶほど1年あたりの負担率が通減していきます。

お申込金額 = 約定金額^{*1} + 購入時手数料 (税込)^{*2}

※1) 約定金額 = 基準価額 × お申込口数
※2) 購入時手数料 (税込) = 約定金額 × 購入時手数料率 (税込)

購入時手数料 (税込) についての留意事項

購入時手数料 (税込) は、ご指定のお申込金額の中から、お支払いいただけます。たとえば、100万円の金額指定でお買付けいただく場合、ご指定金額(お申込金額)の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円の全額がファンドのお買付金額に充当されるわけではありません。

<概算金額の計算>

購入時手数料 (税込) = お申込金額 ÷ (1 + 購入時手数料率 (税込)) × 購入時手数料率 (税込)

<計算例> 購入時手数料率 (税込)

21,526円 = 1,000,000円 ÷ (1 + 0.022) × 0.022

なお、購入時手数料が不要なファンドもありますので、ご確認ください。

2 保有期間中 運用管理費用(信託報酬等)

ファンドを運営する上で、運営当事者(販売会社、運用会社、管理会社)の業務に対する報酬として支払われる費用です。信託報酬は年率表示となっていますが、日々計算され、純資産から信託報酬を差し引いた後に基準価額が算出されています。

1日分の信託報酬 = 純資産総額(残高口数 × 基準価額) × 信託報酬率(税込) ÷ 365

※その他の費用として、監査報酬、有価証券等売買時の売買委託手数料、外貨建資産保管費用、信託事務の諸費用等の費用が信託財産から支払われます。

3 換金時 信託財産留保額

換金代金を支払うためには、信託財産の組入の有価証券を売却し、現金化する必要があります。信託財産留保額は、この売却に必要な手数料等のコストを換金する投資家に負担してもらうために設けられているもので、換金時の基準価額からファンド毎に定める所定の料率が差し引かれます。

投資信託を保有し続ける投資家と換金する投資家との間の公平性を保つためのもので、販売会社や運用会社に支払われるものではなく、信託財産の中に留保されます。

なお、信託財産留保額が不要なファンドもありますので、ご確認ください。

「ファンドラインナップ」

水戸信用金庫 主な取扱いファンド

投資信託の購入時手数料は購入時に負担いただくものですが、保有期間が長期に及ぶほど、1年あたりの負担率ははだいに減っていきます。

アセットクラス	ファンド名・投資委託会社 ファンドの特徴	年間決算回数	購入時手数料(税込)	運用管理費用(信託報酬等)(年率・税込)	信託財産留保額	解約時受渡日(お申込日から起算/営業日)	申込価額	決算日(お申込日から起算/営業日)
変異型	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型) 愛称：円奏会 設定・運用：東京海上アセットマネジメント 国内の複数の資産(債券、株式、不動産投資信託)に分散投資します。各資産への配分比率は、日本債券70%、日本株式15%、日本REIT15%を基本とします。	12	1.65%	0.924%	-	5営業日	お申込日の基準価額	毎月23日
	しんきん世界アロケーションファンド* 愛称：しんきんラップ(安定型) 設定・運用：しんきんアセットマネジメント投信 長期運用に適した6つの資産(国内外の株式・債券・不動産投資信託)に加え、国内短期金融資産を投資対象とし、市場環境の変化に対応した分散投資を行います。	1	1.65%	1.155%	0.30%	5営業日	お申込日の翌営業日の基準価額	2月14日
	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)* 愛称：しんきんラップ(積極型) 設定・運用：しんきんアセットマネジメント投信 長期運用に適した6つの資産(国内外の株式・債券・不動産投資信託)に分散投資します。収益性と安定性のバランスを重視し、市場環境によってはリスクを抑えた資産別配分にて切り替えます。	1	1.65%	1.155%	0.30%	5営業日	お申込日の翌営業日の基準価額	2月14日
	クルーズコントロール 設定・運用：アセットマネジメントOne 国内外の6つの資産(国内債券・国内株式・海外債券・海外株式・新興国債券・新興国株式)に分散投資します。基準価額の下落を一定水準まで抑えることを目指します。	2	2.20%	1.54%	-	5営業日	お申込日の翌営業日の基準価額	1,7月の各11日
	しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 設定・運用：しんきんアセットマネジメント投信 3つの資産(国内株式・国内不動産投資信託・海外債券)に、おおよそ同程度の金額配分で分散投資します。	12	2.20%	1.045%	0.30%	5営業日	お申込日の翌営業日の基準価額	毎月20日
	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 設定・運用：しんきんアセットマネジメント投信 6つの資産(国内外の株式・債券・不動産投資信託)に、おおよそ同程度の金額配分で分散投資します。	12	2.20%	1.155%	0.30%	5営業日	お申込日の翌営業日の基準価額	毎月12日
国内株式型	しんきんJPX日経400オープン 設定・運用：しんきんアセットマネジメント投信 JPX日経インデックス400の動きに連動する投資成果を目指します。	1	1.10%	0.66%	-	4営業日	お申込日の基準価額	6月5日
	しんきんインデックスファンド225 設定・運用：しんきんアセットマネジメント投信 日経平均株価(日経225)と連動する投資成果を目指すインデックス型のファンドです。	1	なし	0.88%	-	4営業日	お申込日の基準価額	1月13日

*ラップ型ファンド……ラップとは包むという意味があります。ラップ口座の運用手法を活用し設定された投資信託で、市場環境に応じて資産配分が見直されるファンド。安定型、積極型など投資家がリスク許容度に応じて選択できます。

(注1)このページは当金庫で取扱う主要な投資信託を一覧にしたものです。各商品の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目録見書)等をよくご覧ください。
(注2)購入時手数料につきましては当金庫における販売手数料を、運用管理費用(信託報酬)につきましてはお客さまにご負担いただく費用を記載しております。手数料その他費用の詳細は、投資信託説明書(交付目録見書)等をよくご覧ください。

「ファンドガイドブック」

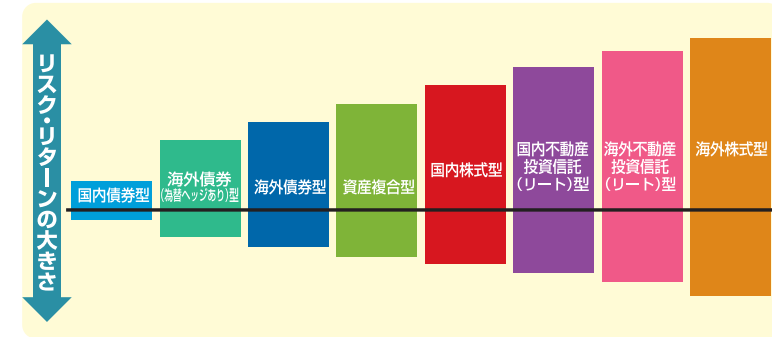
投資信託のリターンとリスク

投資対象によりさまざまな投資信託のタイプがありますが、一般的に大きいリターン(収益)が期待できるファンドタイプは、リスク(価格の変動幅)も大きく、リスクが小さいファンドタイプは期待できるリターンも小さくなる傾向があります。

各ファンドタイプの価格の振れ幅

購入を考えている投資信託が過去にどれだけ値上がりしたか、値下がりしたかを把握しておくことは大切です。とりわけ、最も大きな下落の可能性を想定しておくことは、投資金額や資産の配分比率を決める上でのヒントになります。

右にあるタイプの投資信託ほど高い収益が期待できる一方で、価格が変動する幅も大きくなります。



※上記はあくまでもイメージ図であり、将来の投資成果等を保証もしくは予測するものではありません。
※ここでのリスクは、主に投資信託の価格変動の大きさ(ブレ幅)を指します。

目主な投資リスク概要

- 株価変動リスク** 株式は、企業業績や、国内外の政治・経済情勢等の影響などで価格が変動します。ファンドに組み入れた株式の価格が下落した場合、基準価額の下落要因になります。
- 金利変動リスク** 債券は、金利水準の変化により価格が変動します。利率が確定している債券を購入した後に市中金利が上昇すると、その債券の魅力が薄れ価格は値下がります。組み入れた債券の価格が下落した場合、基準価額の下落要因になります。
- 信用リスク** 信用リスクとは、株式や債券等の有価証券発行体が財務状況の悪化や経済情勢の変化等で利払いや元本の返済が滞り、有価証券の価格が下落したり、投資資金の回収ができなくなったりすることです。信用リスクが高まると保有資産の価格が下がり、基準価額の下落要因になります。
- 為替変動リスク** 為替変動リスクとは、外貨建て資産に投資する際、外国為替相場の変動で投資した金融資産の円換算額が変動することです。外国為替相場は、金利情勢、政治・経済情勢、市場の需給などの要因で変動します。投資国の通貨が対円で下落(円高)すると、投資した資産の円換算額が減り、基準価額の下落要因になります。
- リート(不動産投資信託)の価格変動リスク** リート(不動産投資信託)は、様々な種類の不動産を投資対象としています。リーートの価格は、不動産市況、金利情勢、リーートの財務状況や収益状況などの要因で変動します。組み入れたリーートの価格が下落した場合、基準価額の下落要因になります。
- その他** 他にも、カントリーリスク、コモディティ市況の変動リスク、流動性リスク、デリバティブ取引のリスク、銘柄選択のリスク、一部解約による資金流出に伴うリスク、主要投資対象とする各種資産(外国投資信託、MLP等)の価格変動等のリスクがあります。

●上記の主なリスクは一般的なリスク要因を記載したものであり、ファンドのすべてのリスクを網羅するものではありません。詳細は各ファンドの最新の投資信託説明書(交付目録見書)等を必ずご確認ください。
●上記のほか、「投資信託ご購入にあたってのご注意事項」についてもご一読ください。

「ファンドラインナップ」

資産分散を考えましょう

リスクを軽減するためには

「卵は一つのカゴに盛るな」ということわざをご存知ですか?

これは、資産運用に関するイギリスのことわざです。

一つのカゴにすべての卵を盛っていた場合、そのカゴを落とせばすべての卵が割れてしまいますが、いくつかのカゴに分けて卵を盛っていれば、一つを落としてもすべての卵が割れてしまうことは避けられるという教えます。



● 年間騰落率で見る各ファンドタイプの値動きの変遷

- 一つに資産に集中して投資するよりも、値動きの異なる複数の資産を組み合わせて投資する方が、資産全体の値動きが緩やかになる効果が期待できます。
- 下図を見ると、ある特定の金融資産が長期的に上昇し続けたり下落し続けたりするケースが少ないことが分かります。また、大きく値上がりした金融資産はその直後に大きく値下がりするケースも多く、「資産複合型」のように投資資産を分散することで、資産全体の価格変動リスクを一部回避できると考えられます。

■ 各ファンドタイプの年間騰落率(対象年の末日と前年の末日との比較)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
海外株式(先達国)							26.82%			
国内株式	57.38%	29.08%			29.81%		24.70%			
海外株式(新興国)	43.24%	19.57%		11.01%	26.83%		23.01%		50.42%	
国内リート	40.81%	16.94%		8.43%	15.34%		19.83%		19.83%	
資産複合	26.02%	13.77%		3.53%	7.40%		13.75%	17.29%	18.50%	
海外リート	20.48%	12.87%		2.16%	7.14%		10.73%	13.10%	17.01%	
海外債券(先達国)	14.00%	10.87%		2.12%	4.79%		7.96%	6.32%	9.83%	
海外債券(新興国)	12.56%	8.81%		1.75%	3.69%		6.48%	3.15%	8.69%	
国内債券	6.56%	3.69%		1.01%	0.50%		10.12%	6.29%	2.93%	7.06%
国内債券	1.52%	3.31%		0.63%	0.23%		0.59%	1.28%	1.52%	4.68%
海外債券(為替ヘッジ)	-0.95%	-1.21%		-0.13%	-7.21%		-3.68%		-0.75%	-0.02%
資産複合		-1.51%		-0.56%			-5.96%		-5.33%	-1.12%
海外株式(先達国)		-5.12%					-6.77%		海外リート	-11.30%
国内リート		-5.49%					-7.43%		国内リート	-13.29%
海外債券(先達国)		-6.66%					-8.23%		海外債券(新興国)	-6.48%
海外株式(新興国)		-12.08%					-13.34%		国内株式	-6.82%
海外債券(新興国)		-13.51%					-16.04%		海外債券(為替ヘッジ)	-7.95%
							-18.22%		国内債券	-10.94%
									海外リート	-11.43%
									海外株式(先達国)	-13.20%

※上記はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
※国内公募の全追加型株式投資信託(ETF、通貨選択型、マネーボール除く)を対象としたファンドタイプ毎の指数。QUICK独自の分類。

「グローバル・マーケットのポイント」



グローバル・マーケットのポイント 5月号

2023年4月末時点

金融緩和維持など支援材料多く、日経平均株価は8カ月ぶり高値に (図表1)

23年4月の国内株式相場は日経平均株価が月間で814円96銭上昇しました。4カ月連続の上昇です。月上旬に米国の著名投資家ウォーレン・バフェット氏が日本株への追加投資を示唆。東証が主要上場企業に資本効率重視の経営を要請したことや訪日外国人数の増加、植田和男総裁が就任した日銀の大規模金融緩和維持、円安の進行なども好感され、日経平均株価は月末、22年8月以来8カ月ぶりの高値水準まで上昇しました。

金融システム不安くすぶるも、米国株式相場はハイテク株中心に上昇 (図表2)

米国の金融市場では金融システム不安がくすぶり、金融セクターの株価はやや持ち直しつつも低迷が続いています。大規模な預金流出が明らかとなり、株価が急落していた中堅銀行のファースト・リパブリック・バンクは5月1日に経営破綻しました。一方、大手ハイテク企業の一部で業績が好調だったことや、長期金利の落ち着いたことを受け、株式相場全体ではハイテク株を中心に堅調に推移し、NYダウは4月末、2カ月半ぶりの高値をつけました。

新規受注落ち込み、中国の4月の製造業PMIは4カ月ぶりに50割れ (図表3)

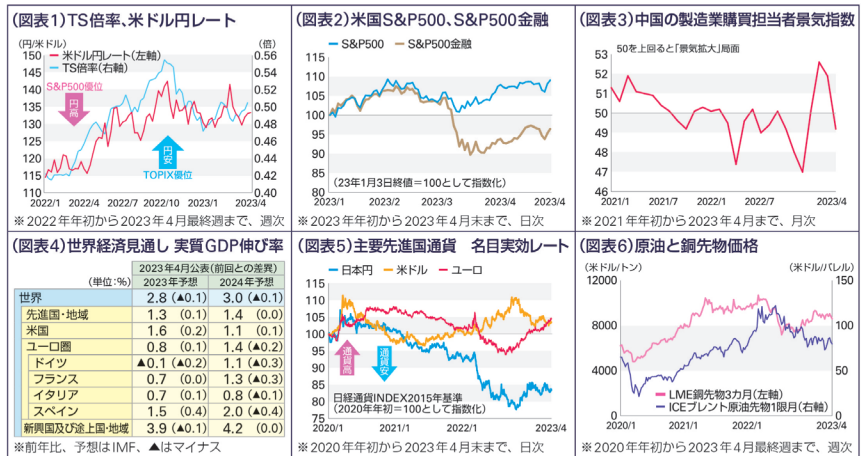
中国国家统计局が4月30日に発表した4月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は49.2となり、好況・不況の節目の50を4カ月ぶりに下回りました。新規受注が落ち込んだほか、耐久消費財や住宅消費の回復も遅れています。3月の全国人民代表大会 (全人大) では大型の景気対策は示されず、不動産市場は厳しい状況が続いています。「ゼロコロナ」政策の影響が残る、中国の景気の本格回復には時間を要する見通しです。

ユーロ圏では最大の経済大国ドイツの景気が個人消費中心に伸び悩み (図表4)

国際通貨基金 (IMF) は4月に改訂した「世界経済見通し」で、ユーロ圏の23年の実質域内総生産 (GDP) 成長率予想を0.1ポイント引き上げ0.8%としたのに対し、地域最大の経済規模を誇るドイツの予想を0.2ポイント引き下げ、マイナス0.1%と下方修正しました。ロシアのウクライナ侵攻に伴うインフレの進行や欧州中央銀行 (ECB) の金融引き締めなどの影響で、ドイツでは個人消費の回復が遅れています。

外国為替市場ではユーロが堅調推移。日銀の金融緩和維持で円が弱含む (図表5)

ユーロ圏の消費者物価上昇率 (前年同月比) は米国を上回って推移しており、ECBの利上げ局面が長期化するとの懸念などから、外国為替市場では通貨ユーロが堅調に推移しています。また、日銀が大規模金融緩和の維持を決定したことで円安が進行。対ユーロでは1ユーロ=150円台をつけ、14年半ぶりの安値まで下落しました。



出所：(図表1、2、5、6) QUICK Workstationより QUICK 企業価値研究所作成 (図表3) 中国国家统计局統計より QUICK 企業価値研究所作成 (図表4) IMF 公表資料より QUICK 企業価値研究所作成 (図表5) 「TS倍率」はTOPIXをS&P500で割って算出

今後のグローバル・マーケットのポイント

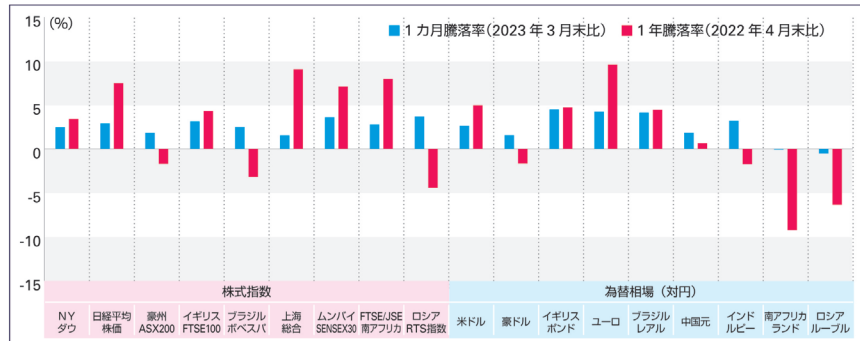
- 米国で中堅銀行の破綻が相次ぐなど、欧米では金融システム不安が依然としてくすぶっています。急激な金融引き締めなどにより脆弱化した金融機関の経営状態を引き続き注視したいと思います。
- 国際商品市場では、世界景気の減速による需要減少観測から、原油市況が軟調に推移しています(図表6)。しかし、主要産油国で構成する「OPECプラス」が5月から追加の自主減産を開始しており(23年末までの予定)、需給の状況が注目されます。
- 中国政府は3月に開催した全人大で、23年の実質GDP成長率の目標を5%前後とし、前22年の目標から0.5ポイント引き下げました。習近平政権は人口の減少、厳しい不動産市況、地方政府の財政悪化などを踏まえて慎重な経済運営を目指すものと見込まれます。

その他の主なリスク

- ①中国の景気動向………世界経済への影響が大きい中国の景気もたついています。前述の政策運営面での課題に加え、耐久消費財や住宅投資の遅れ、若年層の雇用不安なども中国の経済成長に影を落としています。
- ②地政学リスク………核・ミサイル開発を継続する北朝鮮の動向、米中対立の激化、長期化するロシアのウクライナ侵攻など、世界的な地政学リスクの高まりを引き続き警戒したいと思います。

株式・外国為替相場の騰落率

出所：各種データを基に QUICK 作成 ※日経平均株価の著作権は日本経済新聞社に帰属します。※株価指数は現地通貨ベース(ロシア RTS 指数は米ドルベース)。



イベントスケジュール

出所：各種資料より QUICK 作成 ※各日程は変更の可能性あり。

国内	海外
23年 10日	米国23年4月消費者物価指数 (CPI)
5月 11日 G7財務相・中央銀行総裁会議 (新潟市、13日まで)	14日 トルコ大統領選挙 (決選投票が実施される場合は5月28日)
16日	中国23年4月固定資産投資
17日 23年1~3月期GDP(1次速報)	
23年4月訪日外国人数(推計値)	
19日 主要7カ国首脳会議(G7サミット、広島市、21日まで)	
31日 23年4月鉱工業生産指数(速報)	インド23年1~3月期GDP
6月 2日	米国23年5月雇用統計
13日	米国FOMC(14日まで)
	米国23年5月消費者物価指数 (CPI)
15日 日銀金融政策決定会合(16日まで)	ECB政策理事会
	中国23年5月固定資産投資
21日 23年5月訪日外国人数(推計値)	

5. 私たちは、お客さまとの対話を通して、お客さまお一人おひとりにふさわしい金融商品の販売や推奨等を行います。

お客さまの状況、取引経験、知識および取引目的・ニーズをお聞かせいただいたうえで、適時適切な金融商品の販売や推奨等を行います。
商品のラインナップは、昨年同様32ファンドとなります。アセットクラス（投資対象）別の残高比率においては不動産投資信託の割合が高くなっています。

(1)投資信託のラインナップ

商品 カテゴリー	2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
	取扱商品数	構成比	取扱商品数	構成比	取扱商品数	構成比
国内	9	29.0%	9	28.1%	9	28.1%
株式	6	19.4%	6	18.8%	6	18.8%
債券	1	3.2%	1	3.1%	1	3.1%
REIT	2	6.4%	2	6.2%	2	6.2%
海外	15	48.4%	16	50.0%	16	50.0%
株式	6	19.4%	7	21.9%	7	21.9%
債券	8	25.8%	8	25.0%	8	25.0%
REIT	1	3.2%	1	3.1%	1	3.1%
資産複合型	7	22.6%	7	21.9%	7	21.9%
合計	31	100.0%	32	100.0%	32	100.0%
うちノーロード	5	16.1%	5	15.6%	5	15.6%

※新規販売を停止しているファンドを除く

<参考>投資信託のアセットクラス別残高

(単位:百万円)

アセットクラス (投資対象)	2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
資産複合型	4,556	21.6%	4,400	19.4%	4,344	20.3%
国内株式型	927	4.4%	2,246	9.9%	2,753	12.9%
海外株式型	3,392	16.1%	3,658	16.1%	4,197	19.6%
国内債券型	197	0.9%	147	0.6%	132	0.6%
海外債券型	1,260	5.9%	983	4.3%	749	3.5%
不動産投資信託	10,778	51.1%	11,273	49.7%	9,236	43.1%
合計	21,110	100.0%	22,707	100.0%	21,411	100.0%

※新規販売を停止しているファンドを含む

6. 当金庫は、お客さまの最善の利益を図るための職員に対する適切な教育を行ってまいります。

職員に対する研修等を実施し、職員の専門知識の習得や能力の向上を図っています。FP（ファイナンシャル・プランナー）資格の取得を奨励しています。

(1)FP資格保有数

(単位:人)

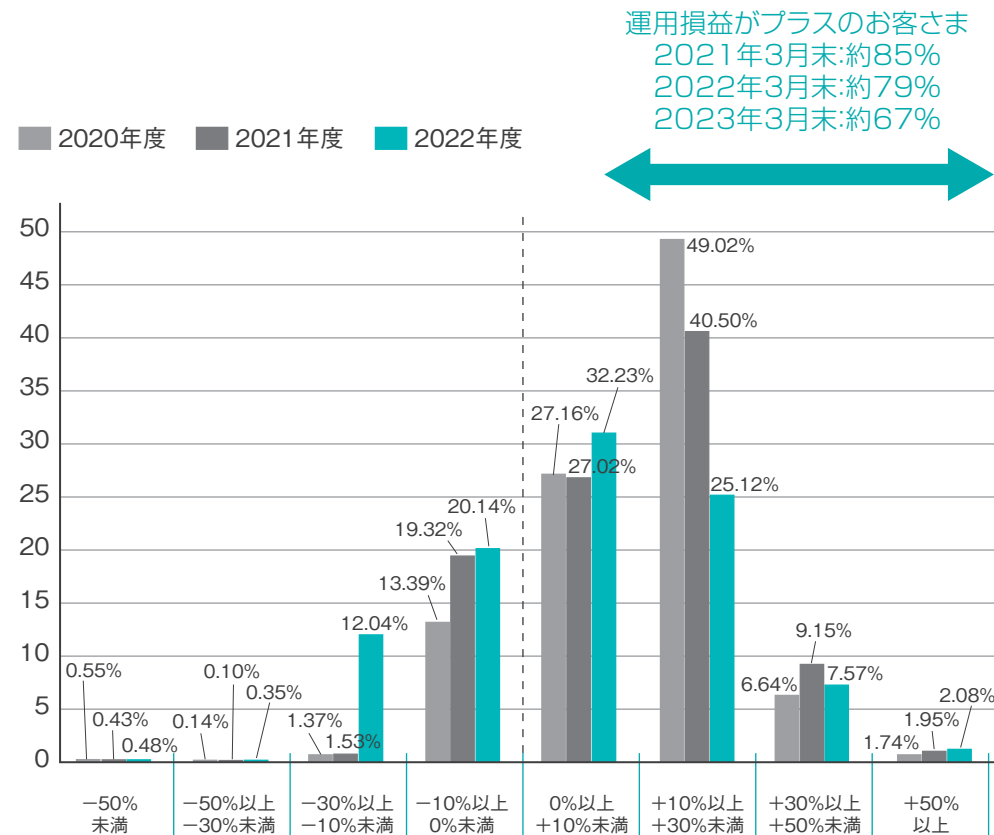
資格名称	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
CFP	3	3	3	3	3
FP技能士1級	15	15	16	16	14
FP技能士2級	237	259	254	268	275
FP技能士3級	287	273	272	263	254

※資格保有者数は上位資格者の下位資格の重複を除く人数

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

2023年3月末現在、当金庫で投資信託を保有するお客さまのうち、運用損益がプラス（0%以上）のお客さまは約67%となっています。



投資信託の運用損益別顧客比率

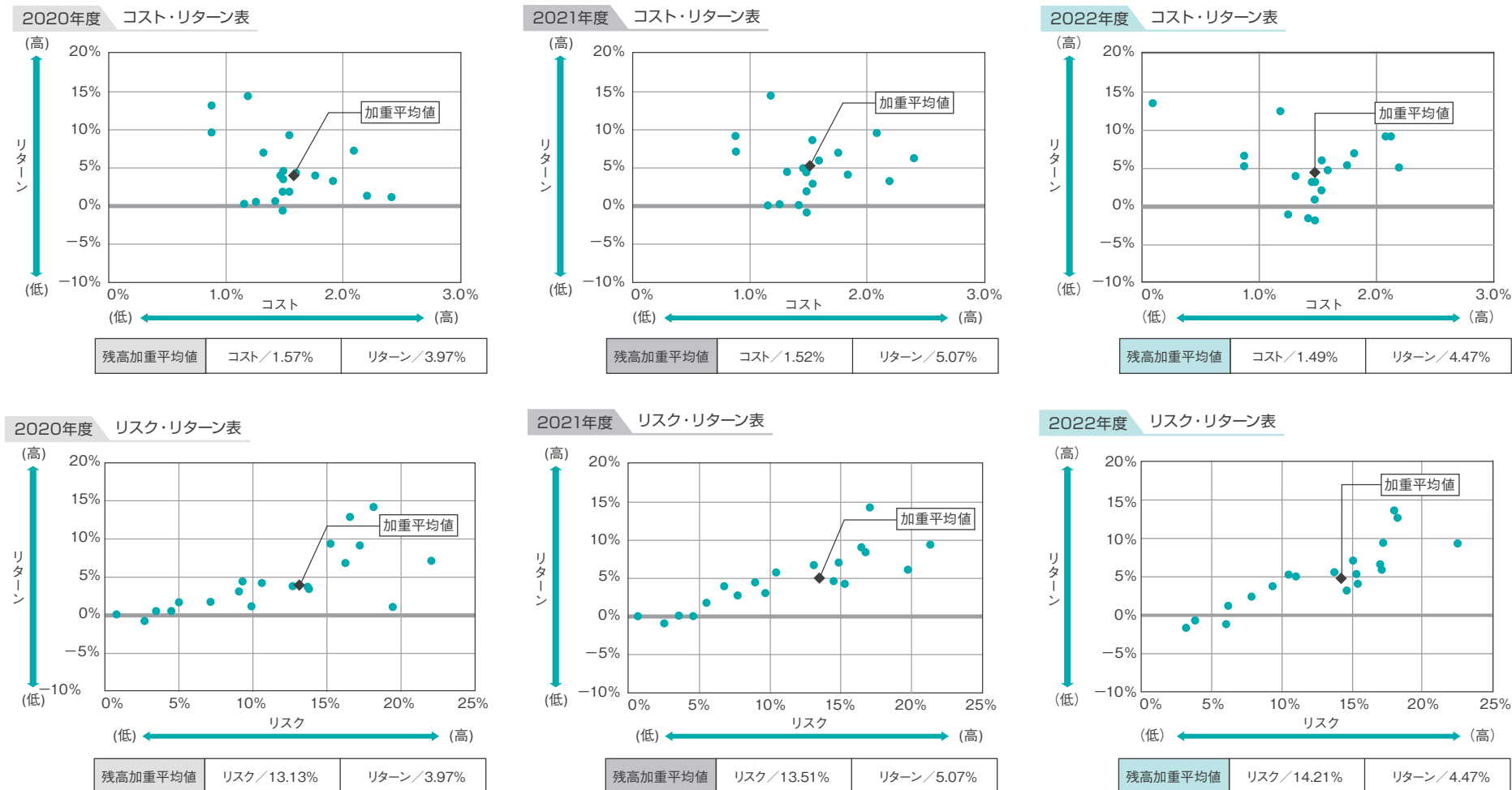
【運用損益の区分】	2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
	顧客数	割合	顧客数	割合	顧客数	割合
+50%以上	114	1.74%	139	1.95%	153	2.08%
+30%以上+50%未満	435	6.64%	652	9.15%	557	7.57%
+10%以上+30%未満	3,211	49.02%	2,887	40.50%	1,849	25.12%
0%以上+10%未満	1,779	27.16%	1,926	27.02%	2,372	32.23%
-10%以上0%未満	877	13.39%	1,377	19.32%	1,482	20.14%
-30%以上-10%未満	90	1.37%	109	1.53%	886	12.04%
-50%以上-30%未満	9	0.14%	7	0.10%	26	0.35%
-50%未満	36	0.55%	31	0.43%	35	0.48%
合計	6,551	100%	7,128	100%	7,360	100%

基準日：令和5年3月末時点(平成15年6月以降の数値をもとに算出)

運用損益：基準日時点の評価金額+累計受取分配金額(税引後)+累計売却金額-累計買付金額(含む消費税込みの販売手数料)

運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。これらの指標により、中長期的に、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多くご提供してきたかを見ることができます。2023年3月末現在、投資信託の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.49%、平均リスク14.21%に対し、平均リターンは4.47%でした。



基準日：令和5年3月末時点

対象ファンド：投資信託預り資産残高上位20銘柄（設定5年以上）

コスト：(販売時手数料÷5)+信託報酬(年率) 販売手数料は、当金庫において最低販売金額での料率(税込) 信託報酬(年率)は、目論見書記載の実質的な信託報酬の上限(その他の費用・手数料は含まず)

リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算) 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後(税引前)の基準価額を使用

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算) 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後(税引前)の基準価額を使用

預り残高上位20銘柄の個別明細

2020年度					(2021年3月末)					2021年度					(2022年3月末)					2022年度					(2023年3月末)																																																																																																																																																																																																																																																																								
順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン	順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン																																																																																																																																																																																																																																																																				
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	13.73%	3.55%	①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.50%	4.59%	①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.60%	3.17%	②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.31%	3.74%	②	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	22.56%	9.24%	③	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.29%	4.49%	③	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	22.56%	9.24%	④	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.45%	0.58%	④	しんきんJPX日経400オープン	0.88%	14.84%	7.05%	④	しんきんJPX日経400オープン	0.88%	15.29%	5.35%	⑤	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	2.67%	-0.72%	⑤	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.60%	0.20%	⑤	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	11.00%	4.97%	⑥	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)	1.49%	5.00%	1.71%	⑥	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.41%	5.77%	⑥	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.76%	-0.90%	⑦	マニユライフ・カナダ債券ファンド	1.91%	9.06%	3.13%	⑦	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	2.61%	-0.85%	⑦	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	1.19%	18.26%	12.55%	⑧	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.60%	4.23%	⑧	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3か月決算型)	1.54%	16.72%	8.48%	⑧	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	15.39%	4.16%	⑨	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	1.42%	4.49%	0.58%	⑨	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)	1.49%	5.51%	1.87%	⑨	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3か月決算型)	1.54%	17.12%	6.11%	⑩	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	7.13%	1.76%	⑩	しんきんインデックスファンド225	0.88%	16.42%	9.11%	⑩	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	3.12%	-1.65%	⑪	DIAM新興資源国債券ファンド	2.20%	9.90%	1.18%	⑪	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	7.69%	2.80%	⑪	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.04%	6.60%	⑫	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	13.69%	3.75%	⑫	DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)	1.76%	13.09%	6.80%	⑫	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	2.13%	17.25%	9.27%	⑬	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	16.24%	6.86%	⑬	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	14.47%	4.78%	⑬	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	7.81%	2.31%	⑭	DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)	1.76%	12.69%	3.83%	⑭	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	1.42%	4.58%	0.07%	⑭	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	14.58%	3.32%	⑮	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	19.43%	1.11%	⑮	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	19.75%	6.20%	⑮	DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)	1.76%	13.77%	5.48%	⑯	ニッセイ日本インカムオープン	1.16%	0.78%	0.13%	⑯	DIAM新興資源国債券ファンド	2.20%	9.67%	3.13%	⑯	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)	1.49%	6.12%	1.15%	⑰	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3か月決算型)	1.54%	17.22%	9.15%	⑰	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	1.19%	17.08%	14.35%	⑰	たわらノーロード先進国株式	0.10%	17.99%	13.54%	⑱	しんきんインデックスファンド225	0.88%	16.54%	12.90%	⑱	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	15.28%	4.31%	⑱	DIAM割安日本株ファンド	1.82%	15.08%	7.02%	⑲	しんきんJPX日経400オープン	0.88%	15.24%	9.39%	⑲	ニッセイ日本インカムオープン	1.16%	0.74%	0.05%	⑲	DIAM新興資源国債券ファンド	2.20%	10.48%	5.20%	⑳	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	1.19%	18.14%	14.21%	⑳	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	1.84%	6.73%	4.07%	⑳	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	1.42%	5.96%	-1.31%
残高加重平均値					残高加重平均値					残高加重平均値					残高加重平均値					残高加重平均値																																																																																																																																																																																																																																																																													